

本物を求め「確かな違いは切れ味」

ヘアサロン銀座マツナガ、松永巳喜男さんらベテラン理容師がコスモスミス見学

微調整作業する栗林社長(左)



松永さんは三条市出身で、県内の理容専門学校卒業後、全国各地で腕を磨き二十七歳で独立し、銀座に同店をオープン。きのう十七日午後一時過ぎにJR燕三条駅に到着した一行は、燕三条地場産センター・リサーチコア、燕市産業史料館を見学後、午後三時四十分ころから、三条市金子新田の理美容鋏メーカー、(株)コスモスミス(栗林達也社長)の工場を見学した。

首都圏のほか海外にも店舗展開している老舗理容店、ヘアサロン銀座マツナガのオーナー、松永巳喜男さんと交流のあるベテラン理容師ら十三人が、きのう十七日とぎょう十八日(火)の二日間の日程で、燕三条地域の工場を視察している。



松永さん

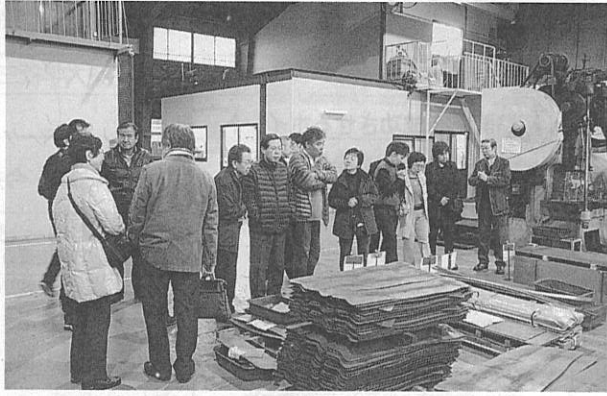
使っていることから実現したもので、同社では、栗林社長の案内で、同社ギヤラリーから、各工程の製造現場などを見学し、作業について説明を受けていた。一行はベテランの理容師ということで、鋏の製造工程や製品に興味津々の様子で、「我々の商売道具がこういう形で作られているのかと思うと、とても勉強になる」「鉄の塊がこんなに美しい鋏に加工されていくのは驚き、職人の技を感じたなど感想を語っていた。



また、同社製品を試用して、その切れ味や使い勝手の良さに感心する人もいて、「すき鋏一つとっても、今はすごく変化してきている。私たちも考えを変えた方がいいのかも」といった声も上がっていた。松永さんは、同社製品の魅力について「確かな違いは、切れ味そのもの。瞬間的に分かるのはもちろんだ

が、その切れ味が長く続くのがすばらしい。たちまち切れなくなるものが多い中で、この鋏は切れ味がずっと続く。普通のカッターであれば半年は持つ。ほかのものだと一カ月くらいでダメになるものもあるから」と評していた。

また、栗林社長は「みなさんが、原点を追求してください」と話していた。本物を求める人たちがわざわざ休みを使って見に来て下さっているのはすごいこと。職人は多くを語らない



越後ジャーナル

発行所 (株)越後ジャーナル社
新潟県三条市西本成寺
2丁目13-36
愛称: 西々線さくら街道
TEL (0256) 35-2290
FAX (0256) 35-3575
E-mail echigoj@sinzado.ne.jp

購読料 1か月 1080円
1部 50円
(いずれも消費税込み)

ホームページ
<http://www.palge.com>

情報は ☎35-2290
(株)越後ジャーナル社

最大放射線量
三条市 南四日町
11月16日
0.11 マイクロシーベルト/時

きれいな地球で暮らしたい。

TOYAMA GROUP
外山産業グループ 外山集団

- 外山産業株式会社
- 外山工業株式会社
- 外山 けんたろ
- 外山 マツタ

TOYAMA GROUP
外山産業グループ 外山集団

- 外山産業株式会社
- 外山工業株式会社
- 外山 けんたろ
- 外山 マツタ